

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会資料

揖保川河川整備計画検討資料

整備計画における治水対策メニューについて

(平成21年8月出水の反映について)

平成22年3月6日、7日  
姫路河川国道事務所

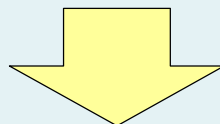
整備計画目標(S51.9出水)とH21.8出水への対応

揖保川の治水目標については、主要3洪水を総合的に比較し選定した。

S45年8月洪水(上流集中型:戦後最大流量)

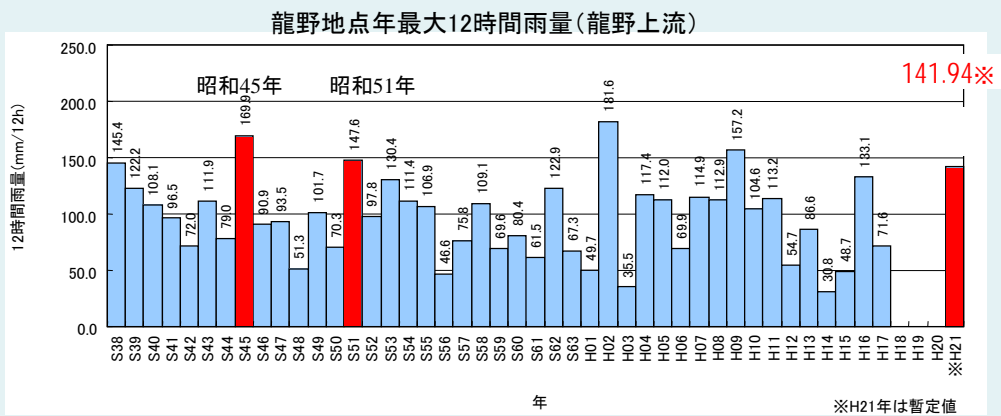
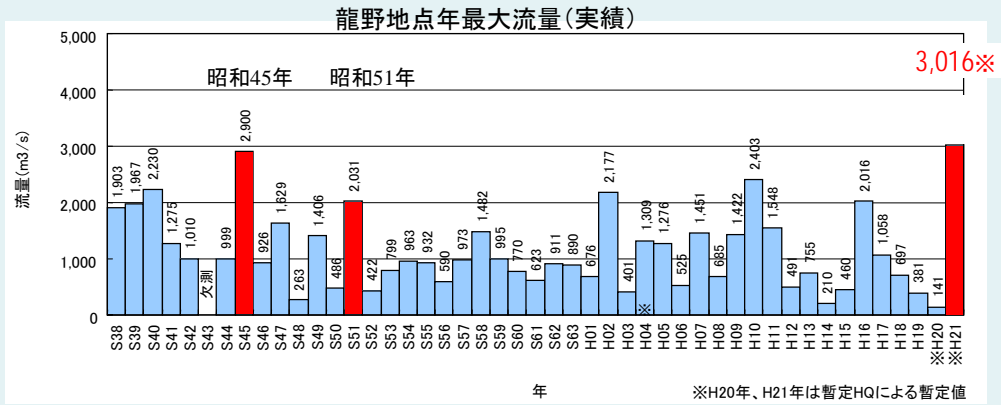
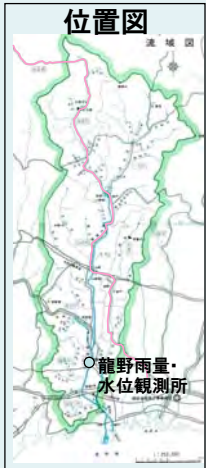
S47年7月洪水(上流集中型:小規模流量)

**S51年9月洪水(下流集中型:被害最大)**



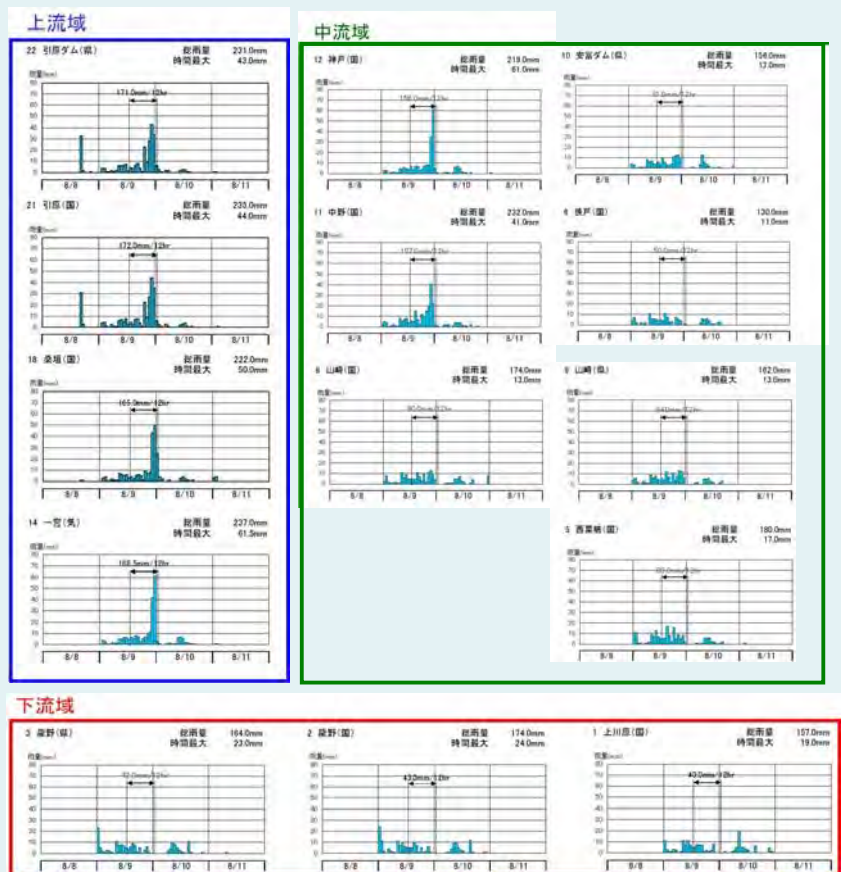
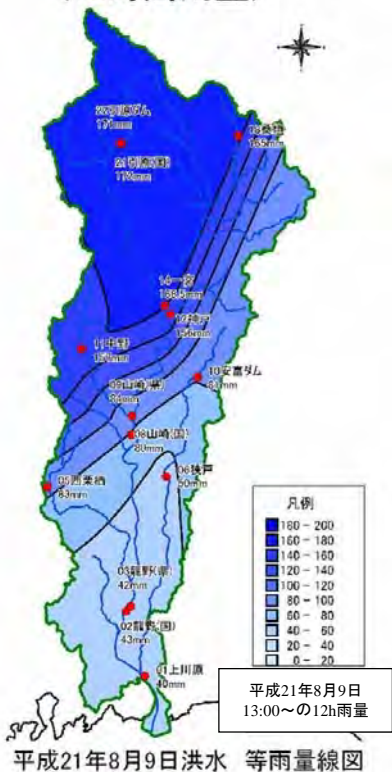
平成21年洪水の被災箇所への被害軽減策は？

# 年最大流量・年最大日雨量の比較(龍野地点)

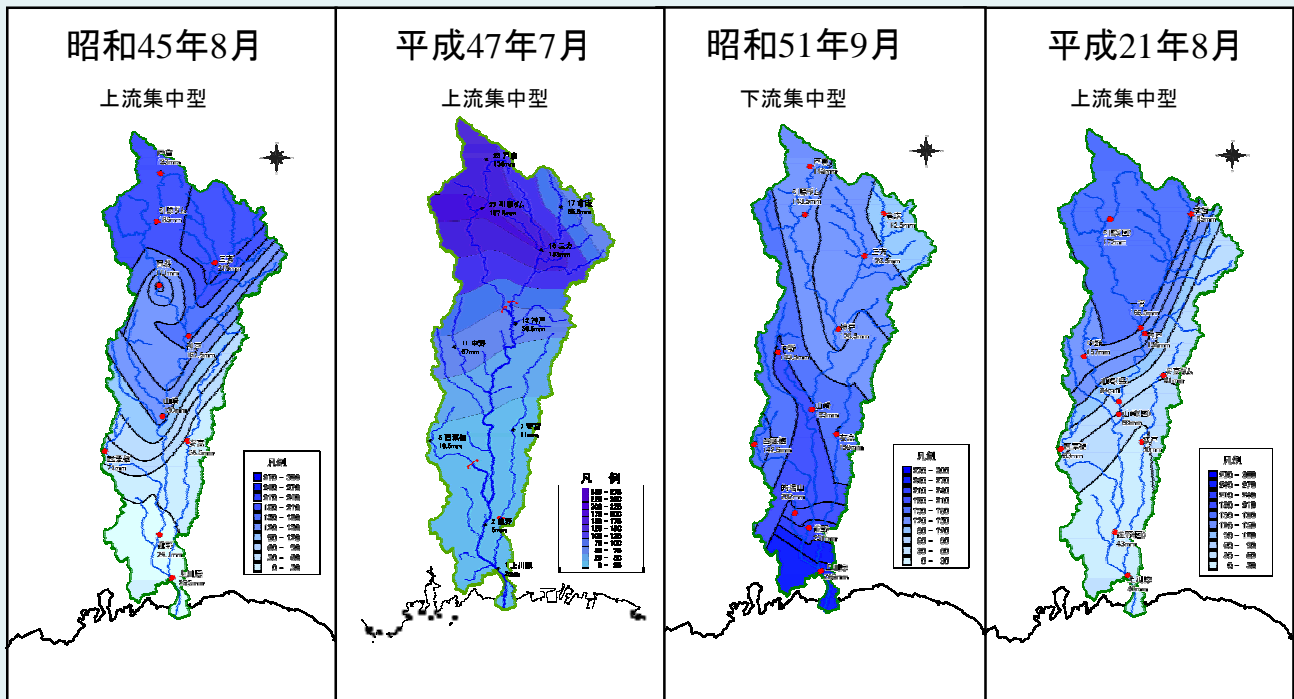


# 平成21年8月9日 揖保川流域の雨量(雨量分布)

揖保川等雨量線図 (12時間雨量)



# 揖保川流域の雨量(平成21年と昭和45年、昭和47年、昭和51年の比較)



※いずれもピーク時の12時間雨量

4

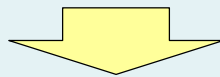
## 整備計画目標(S51.9出水)とH21.8出水への対応

揖保川の治水目標については、主要3洪水を総合的に比較し選定した。

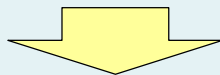
S45年8月洪水(上流集中型:戦後最大流量)

S47年7月洪水(上流集中型:小規模流量)

**S51年9月洪水(下流集中型:被害最大)**



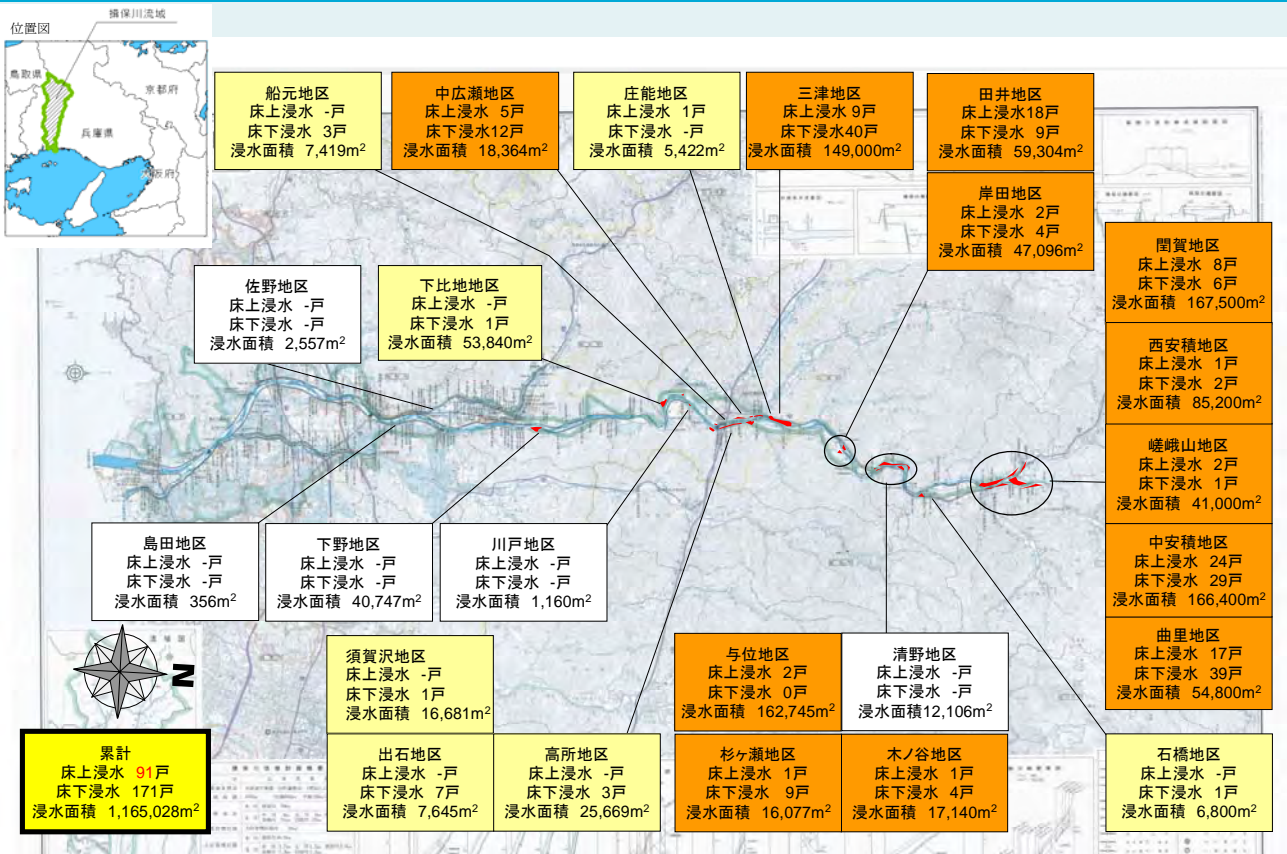
平成21年8月洪水は上流多雨型の降雨で、龍野地点の流量は概ね3,000m<sup>3</sup>/sとほぼ昭和45年と同じであることから、これまでの議論を踏まえ、**治水目標は昭和51年9月洪水から変更しない。**



ただし、被災箇所の被害軽減を目的とした**局所対策を実施する。**

5

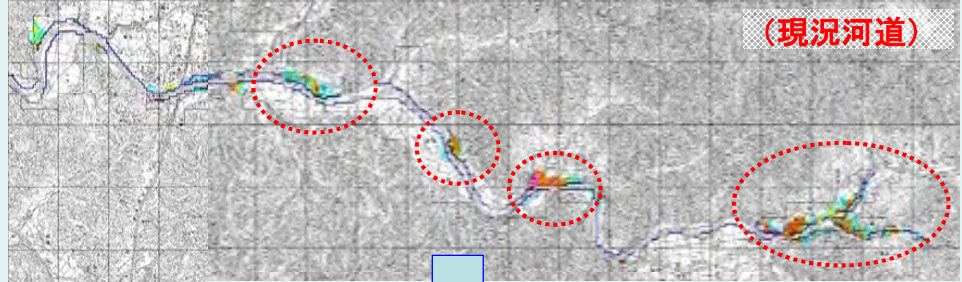
# 平成21年8月洪水の浸水状況(国管理区間)



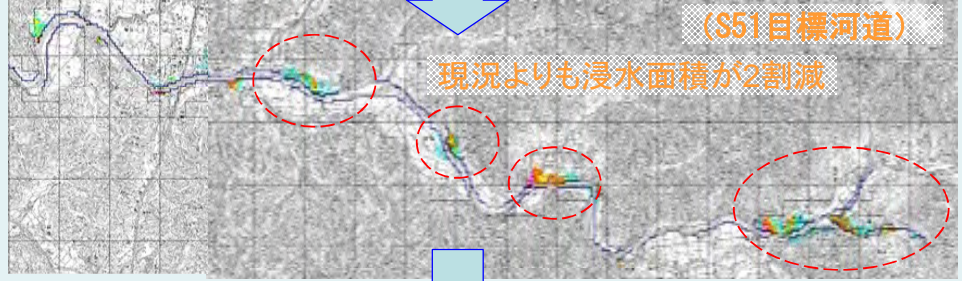
※国土交通省姫路河川国道事務所調べ

## 追加対策によるH21.8出水への被害軽減効果 ◆氾濫解析結果より

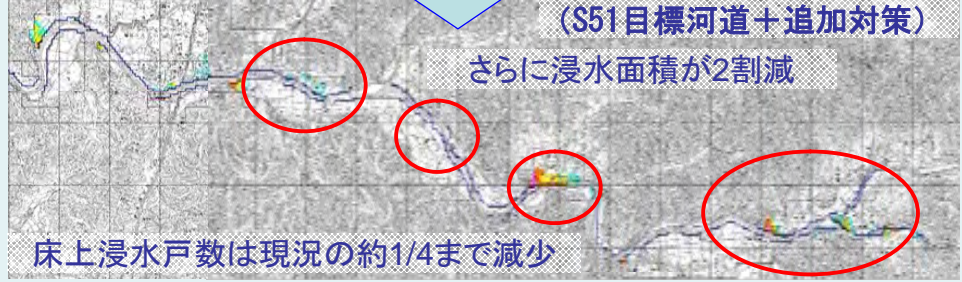
浸水面積 : 158ha  
 床下浸水戸数: 141戸  
 床上浸水戸数: 180戸



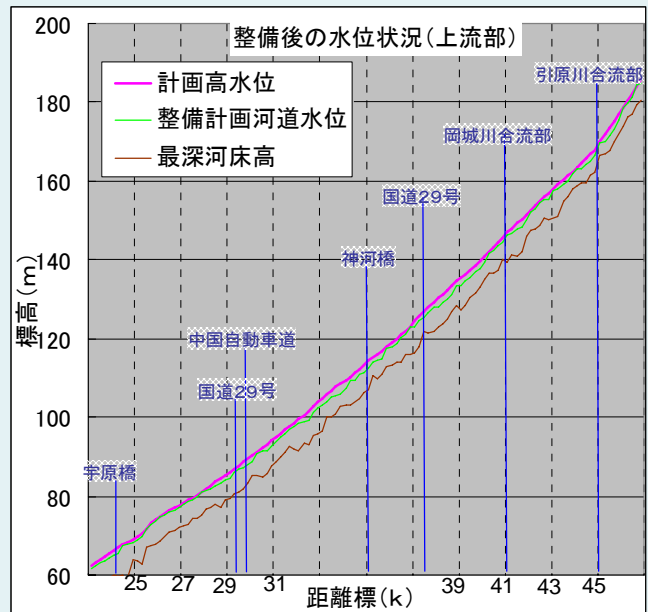
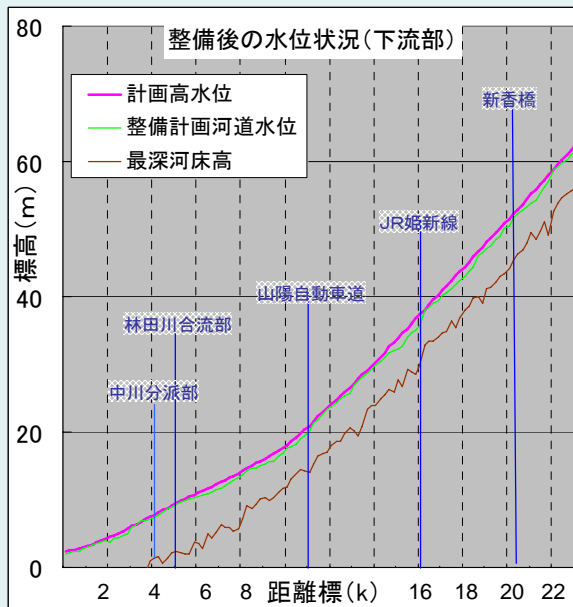
浸水面積 : 128ha  
 床下浸水戸数: 119戸  
 床上浸水戸数: 120戸



浸水面積 : 106ha  
 床下浸水戸数: 58戸  
 床上浸水戸数: 49戸



# 上流部での追加対策による下流への影響

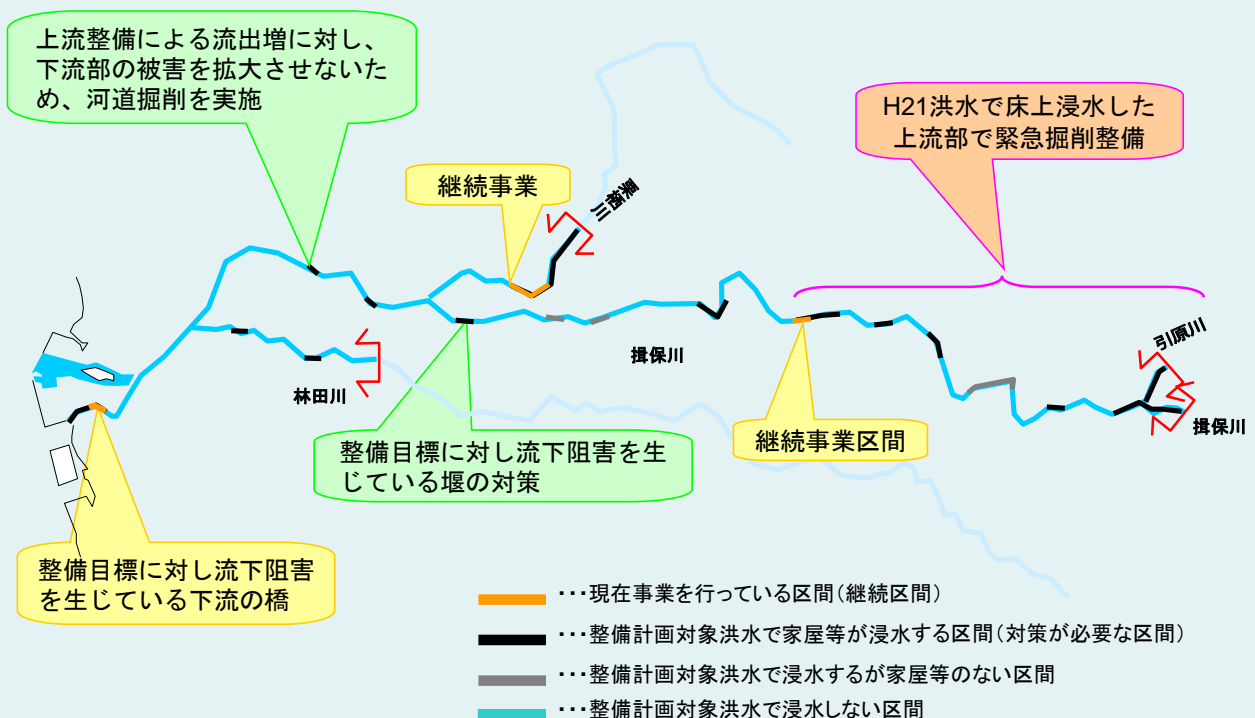


H21. 8出水対応の掘削メニューを追加した計画においても、S51出水相当の水位で比較して、計画高水位を超えない事を確認している。

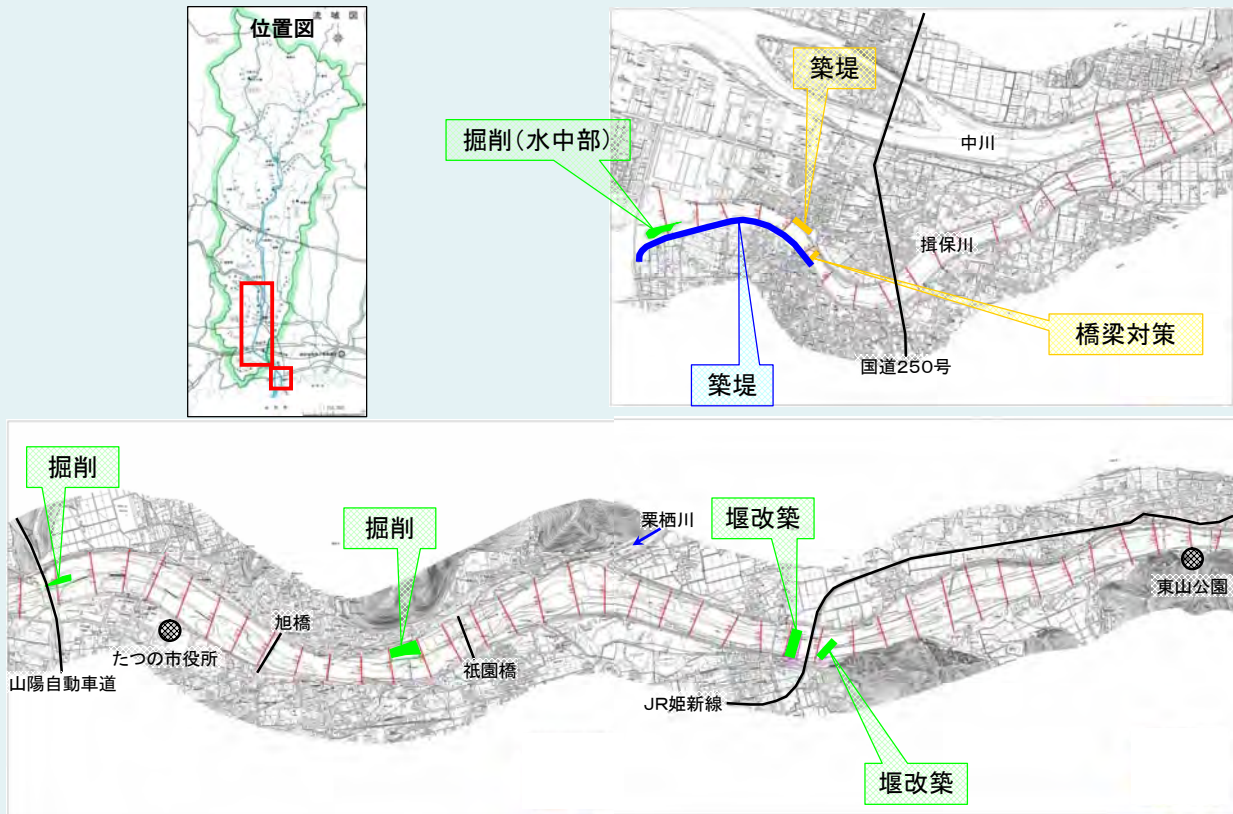
**追加対策(上流部の掘削)を行っても、下流で安全に流下させられる**

# 河川整備計画における整備内容(案)

堤防整備率が低い中上流部を中心に、S51年洪水を目標とした築堤・掘削による対策を進める



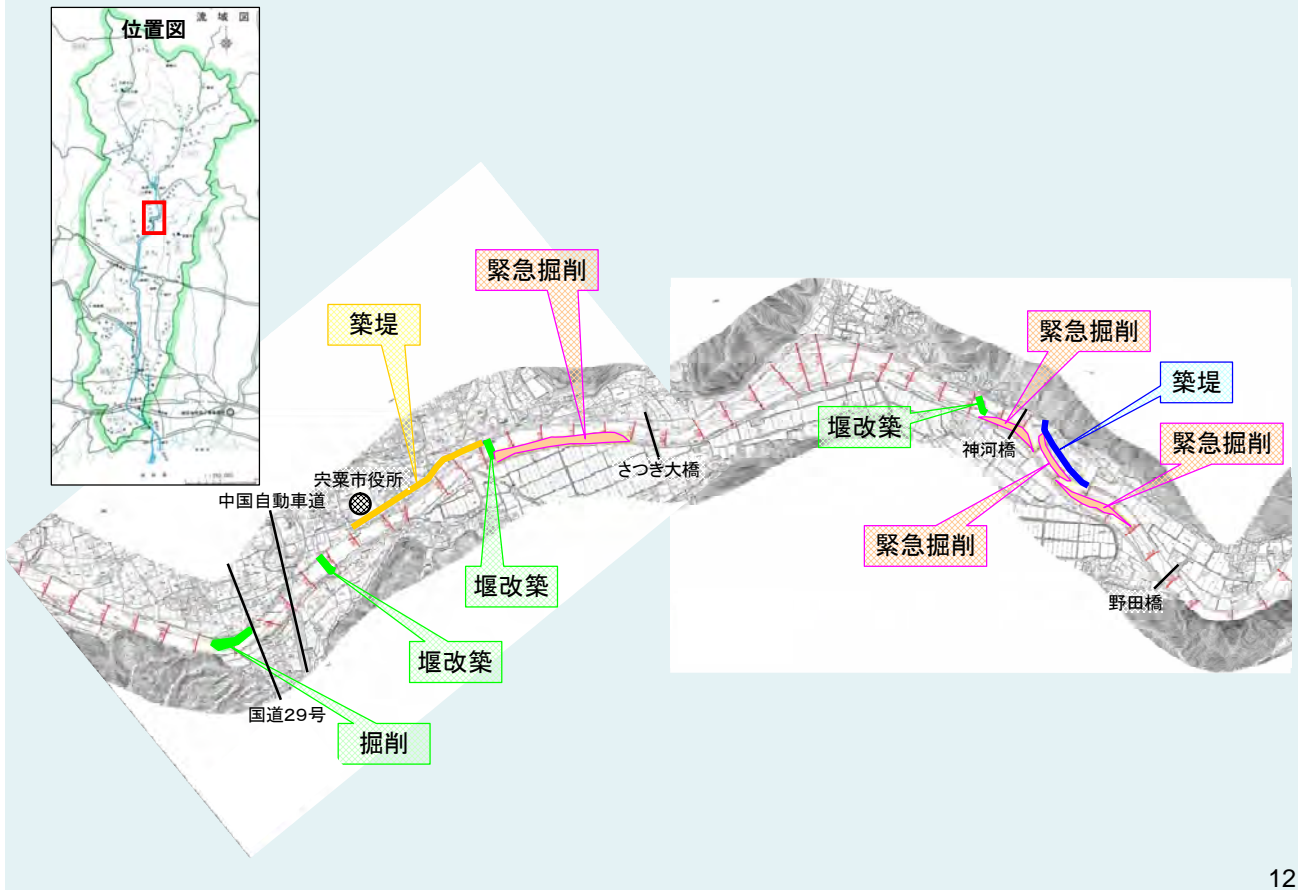
# 河川整備計画における整備内容(案) ①



# 河川整備計画における整備内容(案) ②

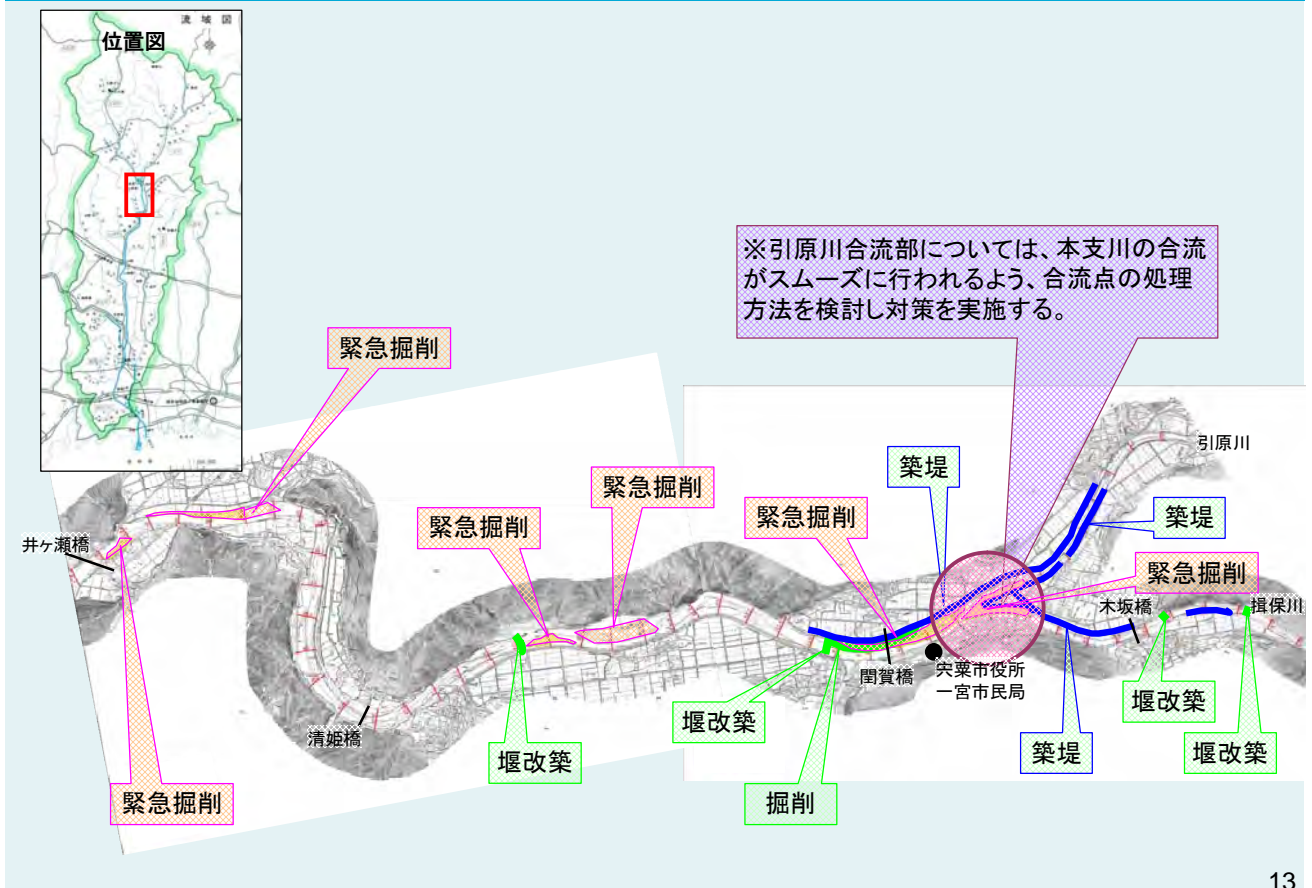


## 河川整備計画における整備内容(案) ③



12

## 河川整備計画における整備内容(案) ④



13

# 河川整備計画における整備内容(案) ⑤

## ●下流部の対策事例

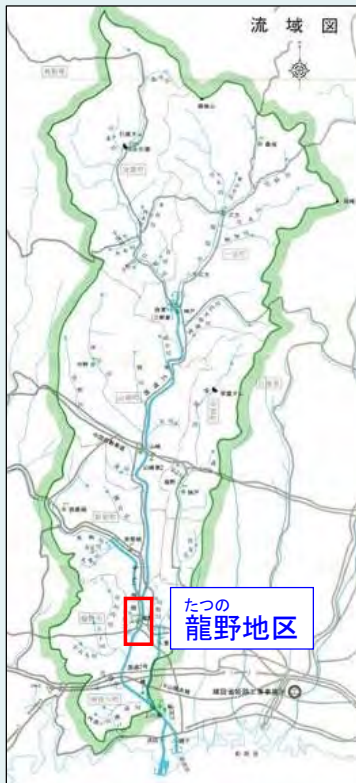


凡例

- S51.9洪水に対し、堤防整備が必要な区間(すりつけ区間含む)
- 継続事業箇所
- 掘削、堰改築箇所

# 河川整備計画における整備内容(案) ⑥

## ●下流部の対策事例



凡例

- S51.9洪水に対し、堤防整備が必要な区間(すりつけ区間含む)
- 継続事業箇所
- 掘削、堰改築箇所



# 河川整備計画における整備内容(案) ⑦

## ●中上流部の対策事例

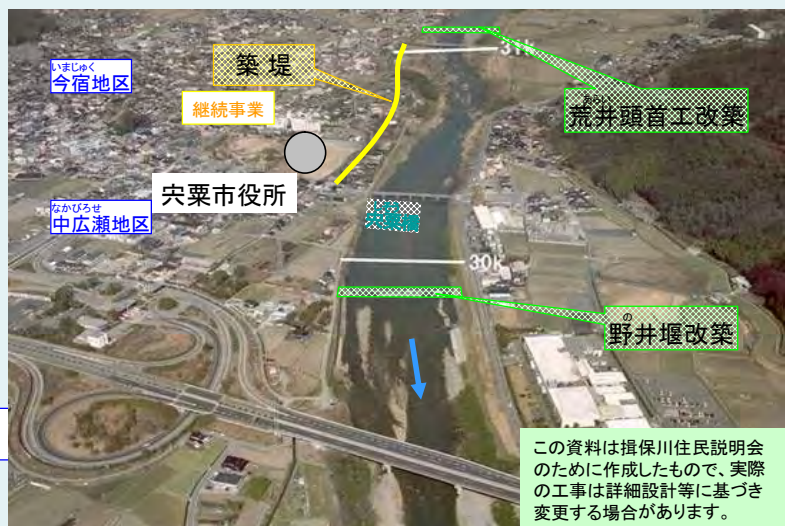


この資料は揖保川住民説明会のために作成したもので、実際の工事は詳細設計等に基づき変更する場合があります。

凡例	
	S51.9洪水に対し、堤防整備が必要な区間(すりつけ区間含む)
	継続事業箇所
	掘削、堰改築箇所

# 河川整備計画における整備内容(案) ⑦

## ●中上流部の対策事例

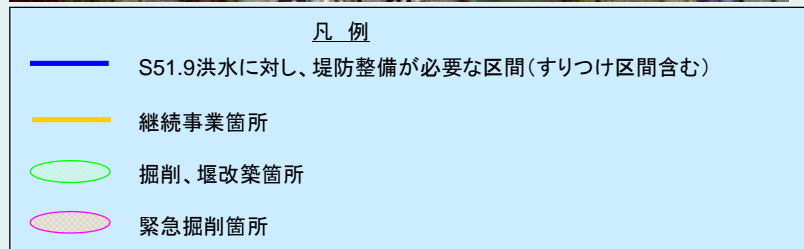
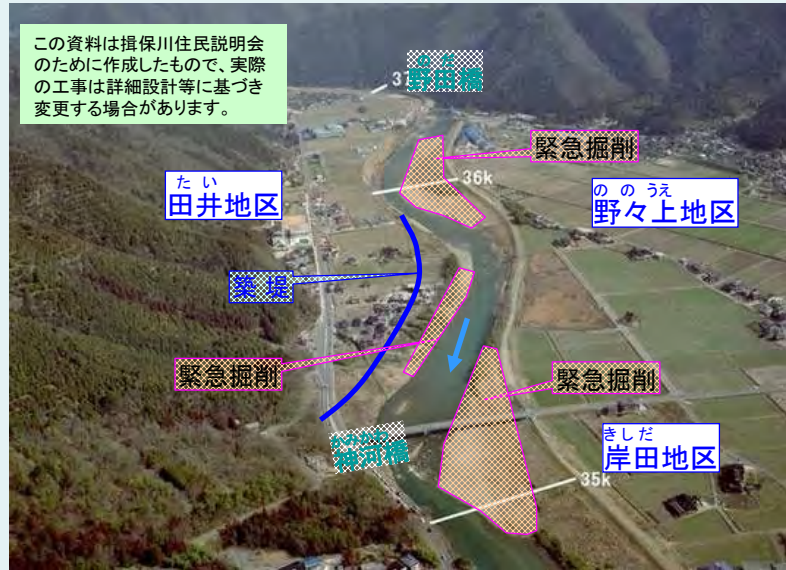


この資料は揖保川住民説明会のために作成したもので、実際の工事は詳細設計等に基づき変更する場合があります。

凡例	
	S51.9洪水に対し、堤防整備が必要な区間(すりつけ区間含む)
	継続事業箇所
	掘削、堰改築箇所
	緊急掘削箇所

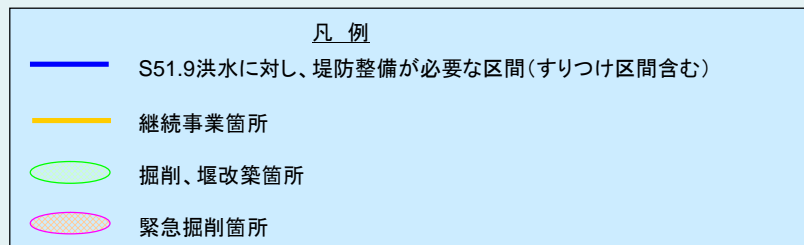
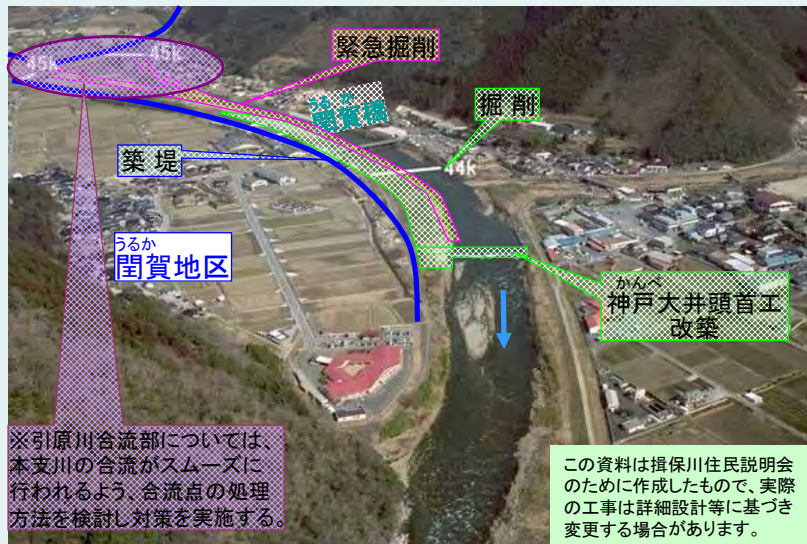
# 河川整備計画における整備内容(案) ⑧

## ●中上流部の対策事例



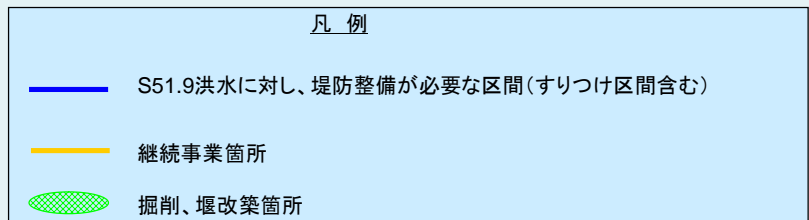
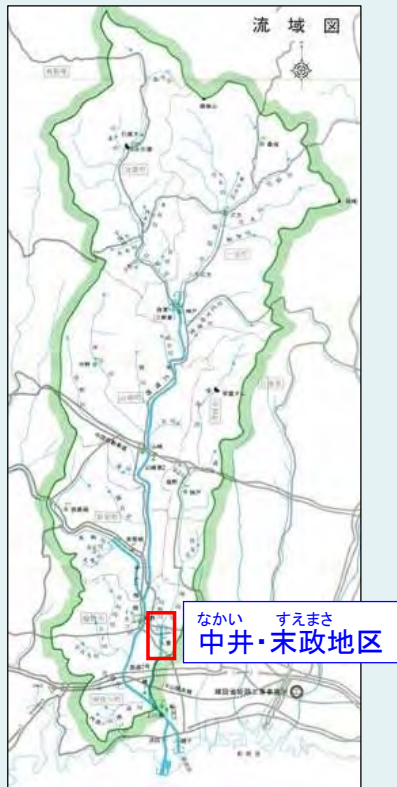
# 河川整備計画における整備内容(案) ⑨

## ●中上流部の対策事例



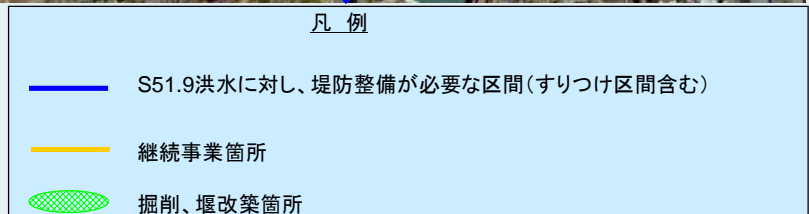
# 河川整備計画における整備内容(案) ⑩

## ●支川部の対策事例



# 河川整備計画における整備内容(案) ⑪

## ●支川部の対策事例

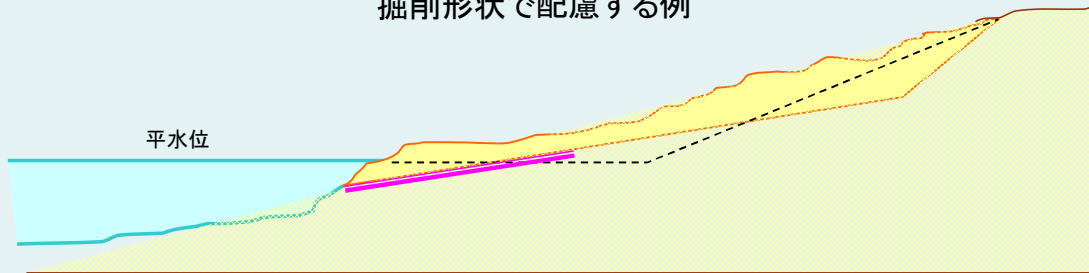


## ■ 河川工事における環境への配慮について

- ・保全すべき貴重な環境がある位置では、なるべく掘削を行わない。
- ・河道内で掘削する部分については、水際部に向かって緩勾配の掘削形状とし、冠水頻度に変化をつけることで河原の再生及び豊かな植物相の創造を期待する。

保全する環境：河口干潟、中川分派部のエノキ-ムクノキ群落、丸石河原(カラハハコ群生地)

掘削形状で配慮する例



掘削を行う場合は平水位以上(陸上部)を基本とし、緩傾斜勾配をつけ水際部の冠水頻度に変化をもたせる

掘削工事を行う前に、既存資料等で貴重種の有無などを確認し、環境面にも十分配慮した計画とする